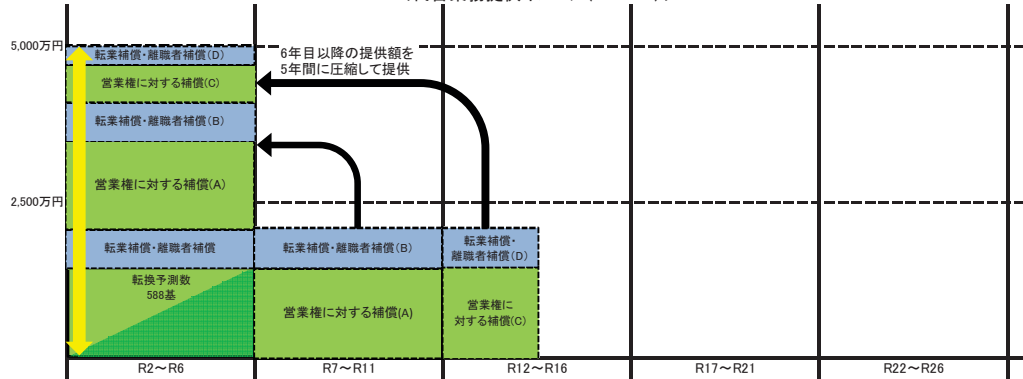
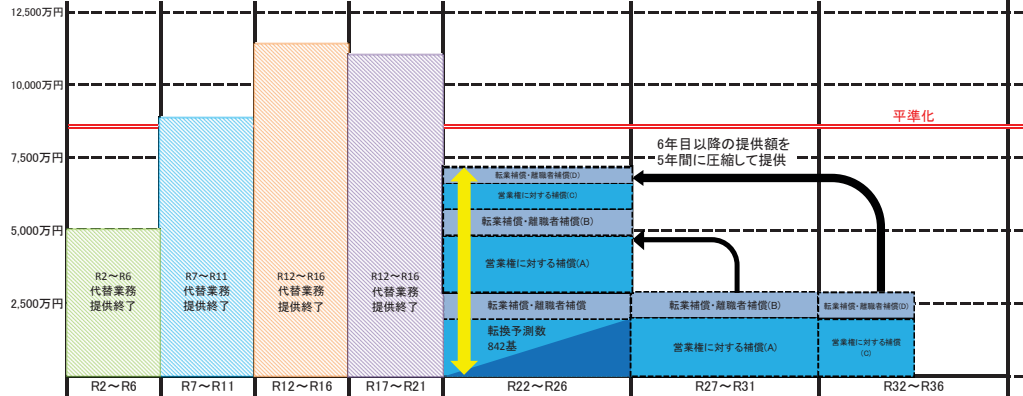


ケース⑤ 5年間の転換予測数（最大値）に対し補償基準を用いた額の代替業務を5年間提供する
 <代替業務提供イメージ(R2~R6)>



中間省略

<代替業務提供イメージ(R22~R26)>



- 【前提条件】
 (1) 補償額は42,700円/基(清掃単価25,000円から算出)
 (2) 代替業務の利益率は10%とする

【提供シミュレーション】

(1) R2~R6代替業務提供額

R2~R6提供総額	= 期間 × 単年度の代替業務額	= R2~R6転換予測数 × 補償額 ÷ 利益率 ÷ 計画期間
251,076,000	= 5年 × 50,215,200	= 588 × 42,700 ÷ 10% ÷ 5年

(2) R7~R11代替業務提供額

R7~R11提供総額	= 期間 × 単年度の代替業務額	= R7~R11転換予測数 × 補償額 ÷ 利益率 ÷ 計画期間
444,080,000	= 5年 × 88,816,000	= 1,040 × 42,700 ÷ 10% ÷ 5年

(3) R12~R16代替業務提供額

R12~R16提供総額	= 期間 × 単年度の代替業務額	= R12~R16転換予測数 × 補償額 ÷ 利益率 ÷ 計画期間
572,180,000	= 5年 × 114,436,000	= 1,340 × 42,700 ÷ 10% ÷ 5年

(4) R17~R21代替業務提供額

R17~R21提供総額	= 期間 × 単年度の代替業務額	= R17~R21転換予測数 × 補償額 ÷ 利益率 ÷ 計画期間
563,640,000	= 5年 × 112,728,000	= 1,320 × 42,700 ÷ 10% ÷ 5年

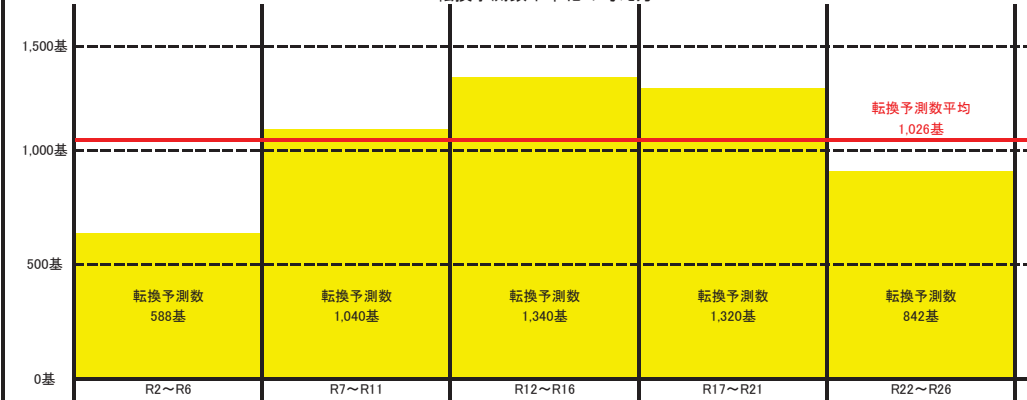
(5) R22~R26代替業務提供額

R22~R26提供総額	= 期間 × 単年度の代替業務額	= R22~R26転換予測数 × 補償額 ÷ 利益率 ÷ 計画期間
359,534,000	= 5年 × 71,906,800	= 842 × 42,700 ÷ 10% ÷ 5年

(6) 代替業務提供総額

提供総額	= R2~R6提供総額 + R7~R11提供総額 + R12~R16提供総額 + R17~R21提供総額 + R22~R26提供総額
2,190,510,000	= 251,076,000 + 444,080,000 + 572,180,000 + 563,640,000 + 359,534,000

転換予測数平準化の考え方



【R2~R26までの転換予測数合計】
 588基 + 1,040基 + 1,340基 + 1,320基 + 842基 = 5,130基

【5年間の転換予測基数平均】
 5,130基 ÷ 5期 = 1,026基

【前提条件】

- (1) 補償額は42,700円/基(清掃単価25,000円から算出)
 (2) 代替業務の利益率は10%とする

【提供シミュレーション】

(1) 5年間の代替業務提供額

$$\begin{matrix} \text{5年間の提供総額} \\ 438,102,000 \end{matrix} = \begin{matrix} \text{期間} \\ 5年 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{単年度の代替業務額} \\ 87,620,400 \end{matrix} = \begin{matrix} \text{5年間の転換予測数} \\ 1,026 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{補償額} \\ 42,700 \end{matrix} \div \begin{matrix} \text{利益率} \\ 10\% \end{matrix} \div \begin{matrix} \text{計画期間} \\ 5年 \end{matrix}$$

(2) 代替業務提供総額

$$\begin{matrix} \text{提供総額} \\ 2,190,510,000 \end{matrix} = \begin{matrix} \text{5年間の提供総額} \\ 438,102,000 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{計画の全体期間} \\ 5期 \end{matrix}$$